

## 令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園、むつ市兔沢スキー場	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育振興会
	代表者	理事長 花山 俊春
	所在地	青森県むつ市大畑町観音堂25番地1
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日 (2年間)	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>むつ市の体育スポーツ振興を図るとともに、生活や文化の向上に寄与することを目的とする</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の施設維持管理に関すること</li> <li>・大畑中央公園及びむつ市兔沢スキー場の広報及び利用促進に関すること</li> <li>・体育並びにスポーツを通して地域住民の健康及び体力の向上のため施設提供に関すること</li> <li>・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること</li> </ul>	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	49,101	48,360	▲741
うち利用料金額	2,340	1,582	▲758
うち指定管理料	46,701	46,701	0
支出合計 (B)	49,101	52,180	3,079
うち人件費	24,281	24,745	464
収支差 (A-B)	0	▲3,820	▲3,820
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>利用料収入については、前年度を下回った。</p> <p>冷涼な夏であったため年齢区分問わず減少した。幼児及び児童生徒の利用が年々減少していることで利用料減少の原因となっている。</p> <p>利用料収入の大半を占めるプール施設において、プール底のタイルの亀裂があり、補修のため8月26日から9月11日まで臨時休館日とした。改修工事に要したこともあり、利用料金及び利用者数の減少にも繋がった。プール施設の収入は、1,269,860円、前年対比93%であった。</p> <p>また、温水プールの利点を活かすとともに、利用者ニーズに対応するため冬場の営業を考慮して、利用日数を12月27日まで延長した。</p> <p>全体的に児童生徒の利用者が減少したことから、利用者数は前年度対比減となった。</p>		

児童生徒の利用の機会を増やすとともに、新たな利用の開拓も必要であるため、温水プールの利点を強調した案内等により、積極的な利用の促進を図りたい。

利用者が減少すると、利用料収入も伸び悩むことから、常態として人件費を抑制するとともに、意識を高めて経費を縮減する工夫をして効果的な運営に努めた。又、快適な空間の提供ができるよう利用者目線での接遇にも努めた。

野球場施設は、計画に対して30,000円少なかった。チーム数減少に伴う大会の縮小により、利用者数は前年対比減となった。

朝野球の練習や一般利用も減少している。同じ大会でも参加者が少なくなっており利用時間が短縮している。

庭球場施設は計画に対して7,000円少なかった。しかし、利用料金及び利用者数ともに前年より増加した。利用者数は531名で前年より228名増加した。

一般利用は例年並みであったが、児童生徒の利用が増えたことが主なる要因である。

庭球場施設の利用料収入は62,420円であり前年より21,690円増加した。

陸上競技場施設は、計画に対して40,000円少なかった。大会の減少もあるが、同じ大会でも参加者が少なくなっており利用時間が短縮している。

トラックの利用については、スポーツ少年団の利用が多かった。一般利用は少なく、トラック利用の料金が生じてからは、一般の簡易的なウォーキング等の利用は減少した。

陸上競技場の利用料収入は105,370円であり、前年より25,260円減少した。

兔沢スキー場施設については、今シーズンで最後の開設であったが、少雪で気温が高く、降雨の続く日もあり、ゲレンデ利用可能日は5日間だけであった。

2月上旬にようやく降雪がありゲレンデを開放したが、その後も気温が高い日が続き滑走ができない状態だった。

2月下旬から、新型コロナウイルスの影響で自粛ムードが高まり、利用者の激減に繋がった。

スキー場施設の利用料収入は5,260円であり、前年より73,490円減少した。

支出について、人件費は計画に対して400,000円超過した。

燃料費は、計画に対して1,600,000円超過した。単価の違いによるもので、プールの燃料となる灯油が計画の60円に対して80円程度であった。

灯油の使用料は、計画に対して5,000リットル増加している。しかし、前年より7,000リットル少なかった。

修繕費は大きく超過した。プール施設の修繕費が多かった。経年劣化と更新時期でもあることから、今後も注意したい。

負担金は、施設を運営するにあたり必要とされる資格取得のため増加した。プール衛生管理士及び、公認体育施設運営士を1名が取得した。

全体として10月からの消費税率の増加に伴い、支出が増加したことも大きい。

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	9,600	7,936	▲1,664
	野球場	2,600	1,572	▲1,028
	庭球場	800	531	▲269
	陸上競技場	4,000	3,720	▲280
	スキー場	2,300	597	▲1,703

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無）  
 意見箱を設置し、利用者ニーズの収集を実施した。又、5月の大型連休及び夏休み期間中アンケートをとるなどして利用状況の確認を行った。自主事業開催時にもアンケート調査を行った。  
 受けた意見等については、全職員で対応し、改善点については速やかに回答を掲示した。意見の内容については、好意的な意見が多いが、中には要望改善事項も含まれているため速やかに対応した。利用者からの苦情は、真摯に受け管理者側の真意を丁寧に説明することで理解と協力を得られるよう、誠意を持って対応した。

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利用者数	収 入	支 出
スポーツ振興事業・水泳教室	1,084	819	749
スポーツ振興事業・初心者スキー教室	0	0	0
スポーツ振興事業・ノルディックウォーキング教室	31	24	21
スポーツ振興事業・少年野球大会	92	23	84
食堂事業（ヒュッテ食堂実数）	1,228	293	359

### 5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価標準 A（優 良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適 正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B

(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	C
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

今期は開設当初から肌寒い日が続き、夏も真夏日が少なかった。特にプール施設は夏休みの利用も少なく、秋の気配も早かったこともあり利用者数は減少した。

主たる収入となるプール施設の利用促進は不可欠であると認識しており、利用者の取得のための広報などにも力を入れている。

また、今期はむつ市民体育大会の水泳競技会場となり、10月期は新たな利用者を取得した。今後においても会場での練習が想定されることから、利用者の増加が期待されると考える。

事業経営については、指定管理者として宿命である施設の活性化、サービスの向上、コストの削減について取り組んでいる。併せて、収支については、収入額、利用統計、使用料等の過去比較実績と検証しながら全体経費を抑制することで不測の事態を考慮した運営を行った。

業務にあたり、指定管理者として意識を高めるため、業務について職員研修を開催している。

定期的な従事員研修は、プール開設前、プールが繁忙期を迎える前、スキー場開設前に実施することとしており、消防計画に基づく消防訓練や救命救急講習も適時に実施している。教育訓練は別に報告しているとおり、復命を共有して伝達講習することで充実を図っている。今期はプール衛生士及び公認体育施設運営士を1名が習得した。

施設の維持管理については、日々の点検が重要であるため異常を発見したら、速やかな措置を講じることを周知徹底している。施設も老朽化しているため、経年劣化や更新時期の設備機器もあるため、適宜担当課と連絡を取って適切な対応を心がけた。

施設設備に係る修繕費の負担区分については多くの課題がある。

特にプール施設は1回あたりの修理の額が大きくなるため、予算超過が生じやすい。状況に応じて、300,000円の負担区分に限らず経常外の事案については、相談することにしてきた。実際に200,000円台の修繕が多いため、指定管理者の負担が大きい。

管理運営するに当たり、職員一人ひとりの意識向上のために毎日朝夕のミーティングを大切にしている。シフト勤務であるため、申し送りの不足がないようにミーティングノートを活用して、伝達事項の用紙を記録して周知することで連携を高めている。

プール監視については、遊泳中の安全はもちろん、更衣室の巡回や声がけを充実させた。

職員間の連携にも力を入れ、ヒヤリハットはミーティングで確認、ノートに記録することで情報の共有に努めた。併せて、事故防止、危機管理、就業意識や資質の向上については、適時の従業員研修等で徹底した。

施設の広報について、施設の使用目的に沿った運営を実施した。利用促進については、ホームページやエフエムアジュールで情報を発信したほか、自主制作のチラシを配布するなど施設の周知に努めた。

自主事業の水泳教室は昨年と比べて449人減少した。コーチの派遣が1名になったため、参加者の安全面を考慮し参加者を制限したためである。また、今期は初めてむつ市民体育大会の水泳競技の会場となった。これからも継続して水泳協会と協力してアピールしていきたい。

着衣水泳教室も今後も継続したい事業であり、防災意識を高め対処する知識を学ぶ機会を提供した。

ノルディックウォーキング教室も、インストラクターの資格を有する職員が講師となり健康増進の事業として実施した。春3回、秋1回開催し、紅葉の薬研や大畑海浜公園をウォーキングした。これからも継続・拡大できる事業である。

また、初めての試みとして少年軟式野球大会を開催した。日程上参加チームは4チームであったが、将来はチーム数を増やして2日間の日程を組んで開催して大会を盛り上げたい。

スキー教室は、のべ97名の応募があった。しかし、少雪のため実施できなかったが、スキーの脱着や基本姿勢、スキー操作など開催日に無償で提供した。1名の参加があった。

また、2月上旬に降雪があったことから、準備を進めていた恒例のゲレンデまつりは開催でき、市民へ施設開放した。

自主事業により、施設の活性化が図られるよう施設の利用機会の拡大に繋げる努力を継続したい。また、自主事業の実施により、指定管理事業の利用者数の増加とともに収益力が高まることも期待して取り組んだ。

併せて、利用の機会を増やすために食堂事業、ゲレンデまつりの自主制作のチラシを作成し、市内の小学校や幼稚園、保育園に配布した。

その他、運営全体として自動車事故が2件あった。それぞれ、被害者と加害者となったが、対人被害はなく事故発生から初動対応については市の示すとおり報告した。再発防止とともに安全確認の強化を図っている。

今期でむつ市兔沢スキー場は閉鎖が決定したことから、スキー場を盛り上げて有終の美を飾りたいと思いを膨らませていたが、少雪という自然にはかなわなかった。

今期で指定期間2年を終えた。今後も大畑中央公園は継続することになったので、これまでの経験を活かして効果の高い施設運営を図れるよう努力する所存である。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・利用者、利用料金ともに前年度よりも増加した庭球場を除き、公園施設、プール施設は利用者や利用料金も前年度よりも減少する結果となった。しかし、気候や、施設の突発的な修繕対応が必要な事案もあり、一概に指定管理者の努力不足であると責めることはできない。施設の老朽化による修繕等が必要なケースが今後も想定されるが、出来る限り運営に支障が出ないように、日頃の点検等を十分注意して行っていただきたい。
- ・下北管内の小学校、幼稚園・保育園への自主制作のチラシの配布など、施設の利用促進を図る積極的な広報活動は、是非今後も継続し、施設の利用増加に繋げていただきたい。
- ・自主事業のノルディックウォーキングは前年度よりも参加者が増加している点は評価できる。新たな顧客獲得に繋がるような取組みに期待したい。水泳教室、軟式少年野球大会においては、引き続き関係団体と連携し、参加者数が増加するよう取り組んでいただきたい。本年度で、兔沢スキー場の閉鎖により、スキー教室と食堂事業は終了となるが、今後新たな自主事業の展開を期待する。
- ・プール衛生管理士及び公認体育施設運営士の資格取得については、今後の施設運営においてプラスになることであり、評価できる。今後も積極的に行っていただきたい。
- ・「日常の事故防止等の安全対策は適切であったか」の項目についてはC評価とした。対人被害は無く、事故後の対応についても適切かつ誠実であったと捉えているが、平成30年度に続いて事故が続いている点から、職員に安全運転の意識付けを行うなど、引き続き再発防止策を講じ、安全確認を徹底していただきたい。